

(一社) 東北ニュービジネス協議会 【TNB】

2024 TNBプレミアム企画

TNB名誉顧問
大山 健太郎 氏との
問答型「特別経営塾」in盛岡

2024.10.30

アイーナ&ホテルメトロポリタン盛岡



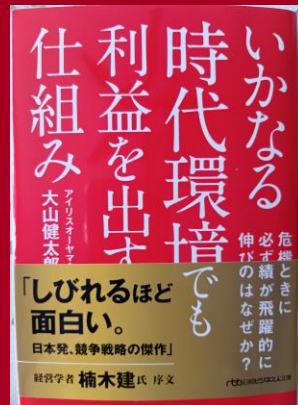
Album

開催の趣旨

1. 経済の「若返り」のタイミングを捉えて直に学ぶ
2. 同時に仕事上の悩み・相談について助言を仰ぐ
3. そして親しくざっくばらんに「交流」を深め合う

進め方

1. 大山名誉顧問のご講演
2. 問答型の「特別経営塾」
 - ① 事前に頂いたご質問等
 - ② 講演と本に関するご質問等
3. 交流会（TNB支部間交流）



アイリスグループ 会長
JNB副会長 TNB名誉顧問
大山 健太郎 氏



いわて県民情報交流センター「アイーナ」会議室

32名参加

第一部

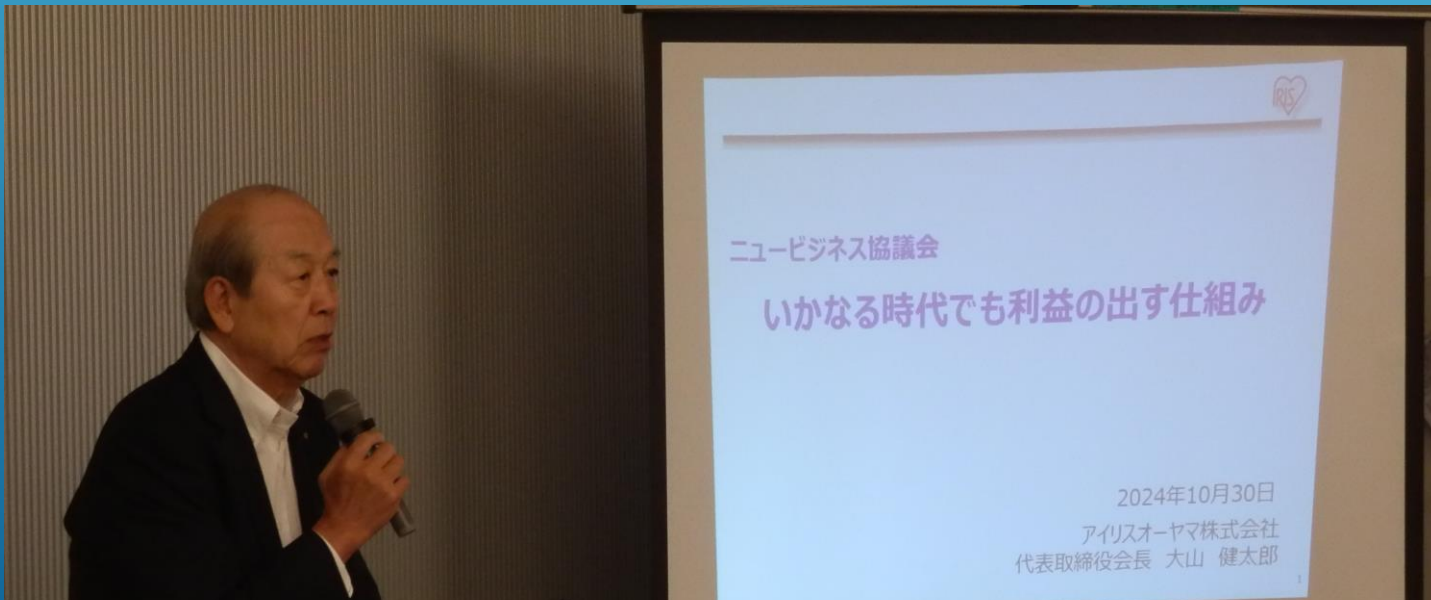
大山健太郎氏の「ミニ講演会」 ～「いかなる時代環境でも利益を出す仕組み」～



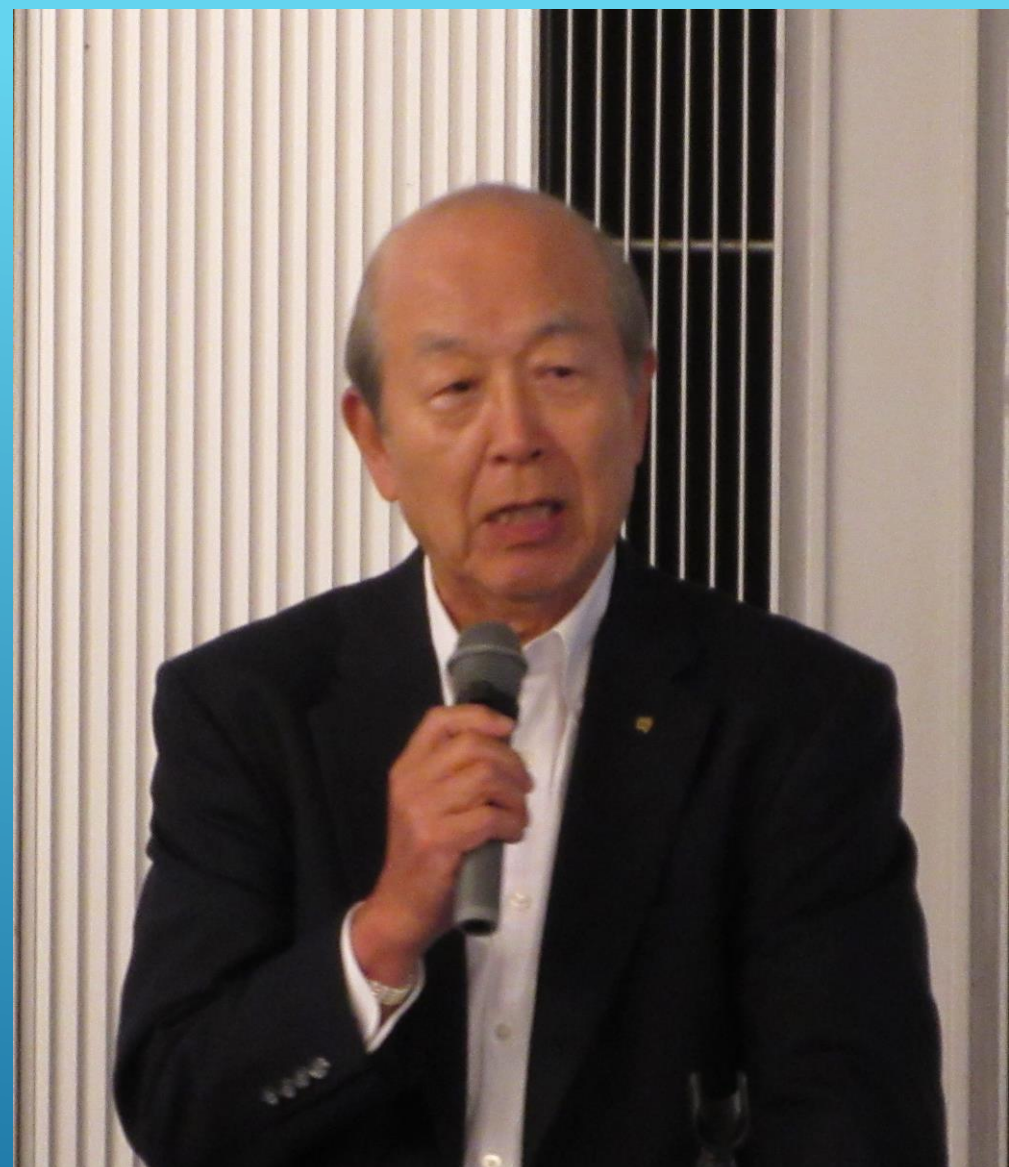
進行: TNB 専務理事 千葉



大山名誉顧問の「ミニ講演会」



大山名誉顧問の「ミニ講演会」



車座になり、至近距離で真剣な
大事なお話を本音で頂きました

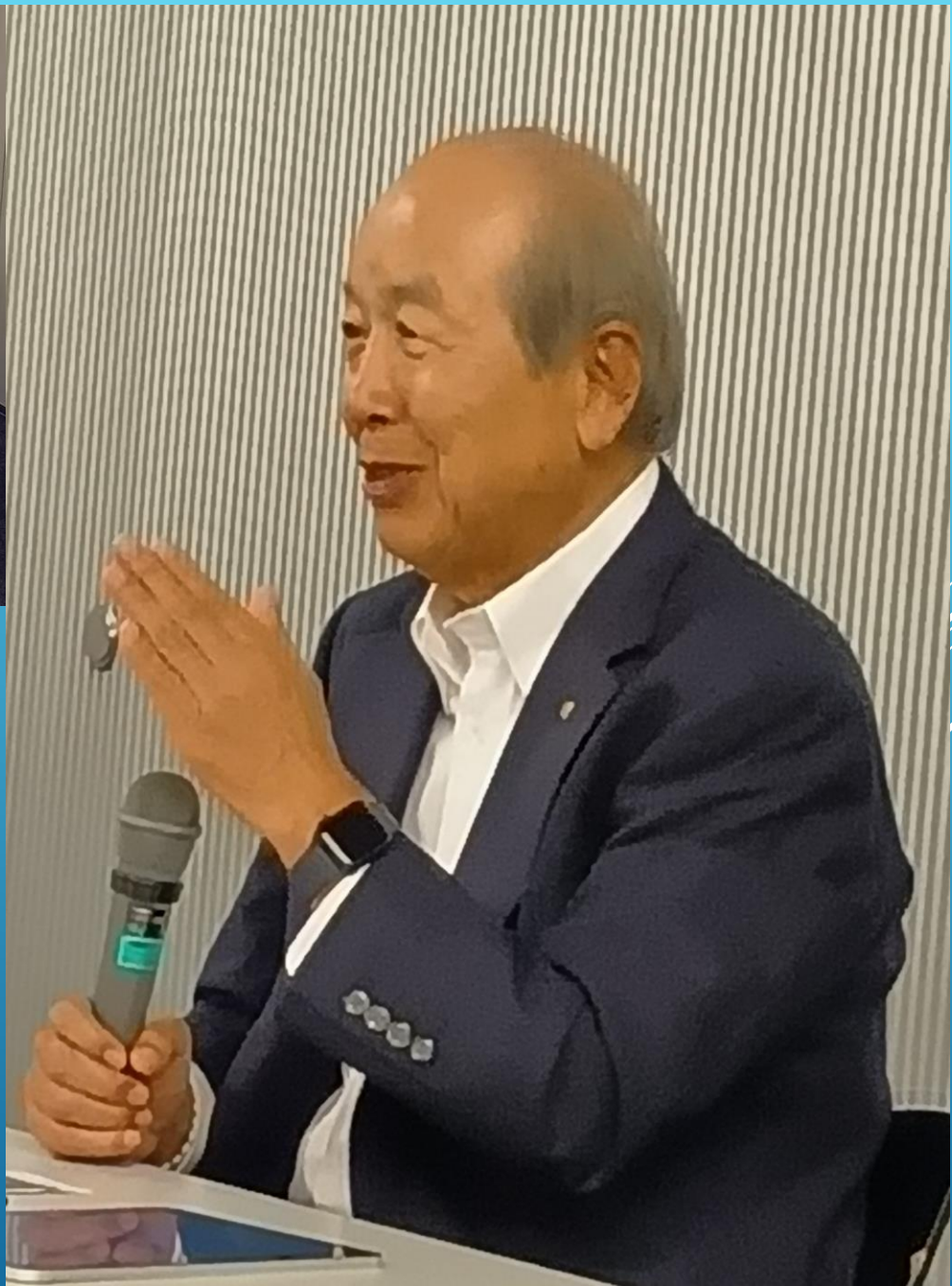


第二部

大山氏との問答型「特別経営塾」

～経営上の悩み・課題を大山名誉顧問に直にご相談～

車座になり、膝を交えて、直に質疑応答



「特別経営塾」
問答型の





車座になり、悩み・課題を大山名誉顧問に
直にご相談・質問しアドバイスを頂きました



問答型の「特別経営塾」

問答型の「特別経営塾」



問答型の「特別経営塾」





第三部 大山名誉顧問を囲んでの「交流会」 ～TNB各県支部間の「合同交流会」キックオフ～



TNB いわて支部
支部長 新里さん

交流会 乾杯の挨拶





北日本銀行頭取の石塚
さんは、約20年前同行
仙台支店長時代に
TNB活動を支援して
下さり、
本行に戻られてからは
「TNBいわて支部」
立上げにご尽力を頂き
ました。

スピーチ



北日本銀行
頭取 石塚さん

交流会
記念品贈呈
大山名誉顧問に御礼の
記念品を石塚さんより
お届け致しました。



大山名誉顧問を囲んでTNB各県支部長とオピニオンの皆様



TNBいわて支部・あきた支部・みやぎ支部の「支部幹事」の皆様



事業を継承される七人の若い皆さん



各社の総務ご担当の皆様と事務局のメンバー



若い七人の事業継承者の皆さんと
大山名誉顧問との「特別個別問答」

「特別個別問答」



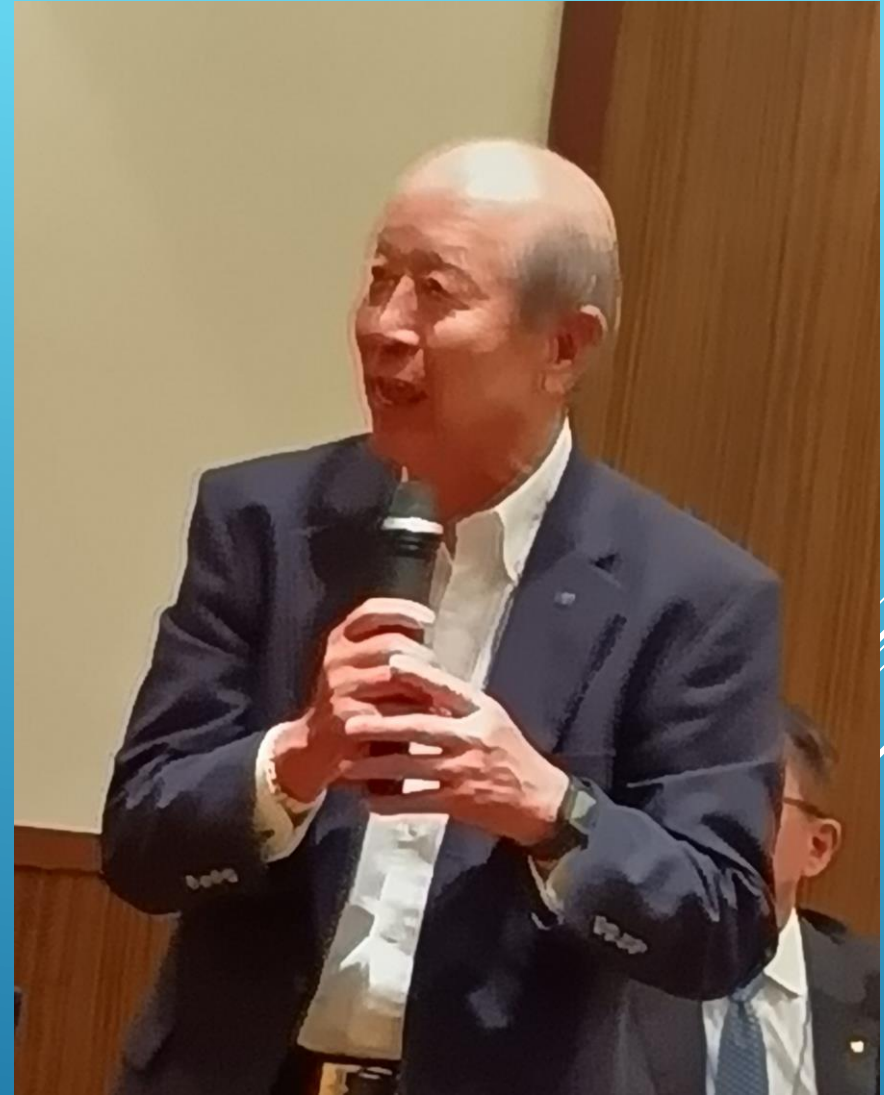
進行: TNB 専務理事 千葉





「交流会」宴たけなわのタイミングで、若い七人の事業継承者の皆さんから、お一人ずつ個別に大山名誉顧問にご相談する時間を設けました。若い皆さんから、事業を進めるうえでの親子の関係、兄弟とのバランスなど、率直なご相談があり、大山名誉顧問よりアドバイスを頂きました。

大山名誉顧問、ありがとうございました。



「特別個別問答」



今回を契機に、若い発想とパワーで頑張るぞー！

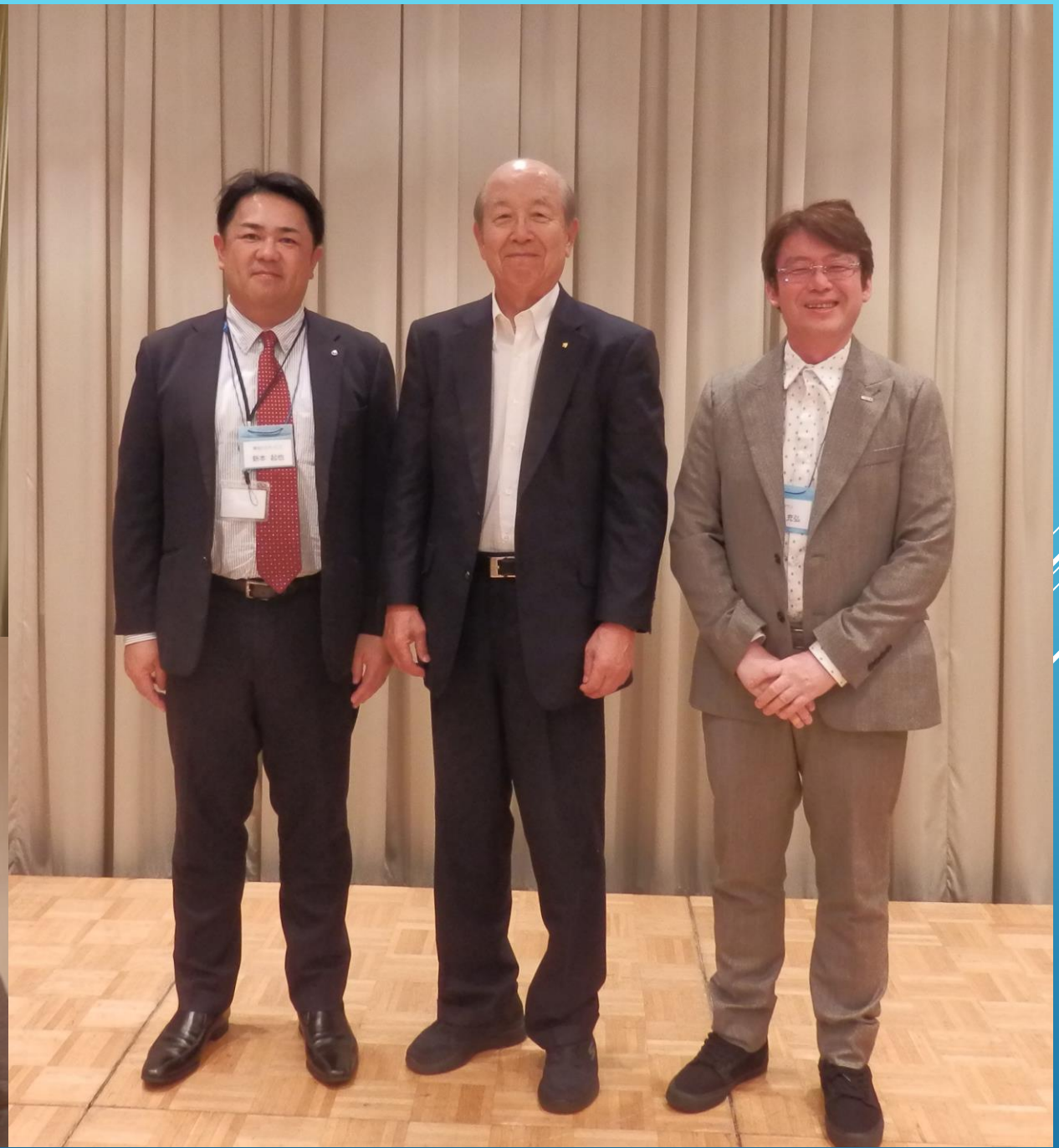
若い七人の事業継承者の皆さんと
大山名誉顧問との「特別個別問答」



陽光ビルサービス
社長の新本さん



ヨコウン 社長
の塩田さん



若い皆さんへエール!!
塩田さんと新本さんは
社長に就任されてから
数年を経た先輩です。





親子でのご参加の皆様

秋田市

サノ・ファーマシーの

佐野社長と宏治さん

盛岡市

シリウスの

佐藤社長と志学さん

TNBあきた支部
支部長 佐野さん



交流会 中締め挨拶



2024年度 TNBプレミアム企画『大山健太郎名誉顧問との問答型「特別経営塾」in盛岡』 2024.10.30

アイリス・大山会長
盛岡でTNB経営塾

環境変化、対応力に磨きを



大山会長（右）と議論する会員

東北二ニュービジネス協議会（TNB）主催の経営塾が、盛岡市のいわて県民情報交流センターで開かれた。会員がアイリスオーヤマ（本社仙台市）の大山健太郎会長（79）とTNB名誉顧問Ⅱを囲み、環境変化への対応力をどう磨くかについて語り合った。

先月30日に開催され、北東北3県の会員企業から約30人が参加。大山会長は「いかなる時代環境でも利益を出す仕組み」と題して講演し、「北東北では生産年齢人口が大幅に減り、企業活動が先細るのは明らか。常に需要を想像し、ビジネスモデルをどんどん変えていかなければならない」と強調した。

その上で経営者の心構えとして「ニーズに対応する

『構想力』と、周囲の考えを聞いた上で自分の考えを語る『説得力』、そして率先して行動する『実践力』が不可欠。一方的な姿勢は駄目。社員と情報や理念を共有し、最後は結果責任を取るのがリーダーだ」と語った。

その後、問答型の議論を展開。ヨコウン（横手市）の塩田充弘社長（58）は人材育成に関し「トップはどこまで口を出すべきか」と問いかけた。大山会長は「トップ1人ができることは限られている。大事なのは自分の右腕となる存在をつくらせて任せること。そうするとその右腕は責務を自覚し、また自身の右腕をつくらせていく。それによって社内につながりが生まれる」と助言した。

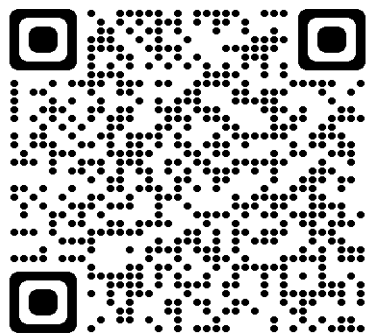
別の会員からの「アイリスでは時代を先取る力をどうやって養っているのか」との質問に対しては「アイリスの最重要項目は売上利益ではなく、発売から3年以内の新商品の比率。新しいものを作ってもすぐにコピーされ、供給過剰になって値下がりする。だから経営者が構想力を持ち、次々に新商品を出して前に行くことを重視している」と解説した。

（小松嘉和）

ご参加をいただき ありがとうございます

一般社団法人 東北ニュービジネス協議会 【TNB】とは？

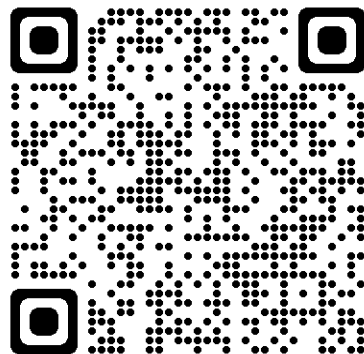
ご案内



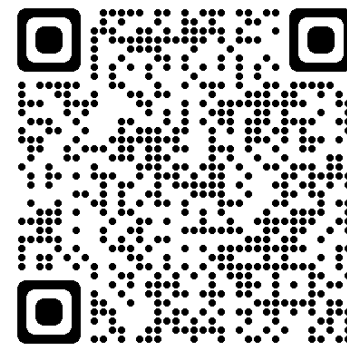
メリット



アルバム



広報誌



TNBの活動内容は「QRコード」からいつでもご覧いただけます

大山名誉顧問には、大変ご多忙の中を
仙台会場に続き、貴重なお時間を賜り
まして厚く御礼申し上げます。
ご参加の皆様ご協力ありがとうございました。

